

2021 年 5 月 12 日

岐阜大学医学部附属病院において外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「重症くも膜下出血急性期における栄養状態が疾患予後に与える影響についての後ろ向きコホート研究」への協力をお願い

岐阜大学医学部附属病院薬剤部では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日の間に、当院脳神経外科において、くも膜下出血治療のために脳動脈瘤コイル塞栓術、脳動脈瘤クリッピング術を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2025 年 3 月 31 日

研究目的・方法：

脳動脈瘤破裂くも膜下出血（SAH）は 1 ヶ月以内の死亡率が約 30%と高く、生き残っても約半数が社会復帰不能になるといわれています。軽症例では栄養状態を改善することにより社会復帰が可能になる確率が上がると言われていたますが、重症例での報告はまだありません。この研究では意識障害を伴うような重症 SAH 患者さんの栄養状態と予後の関連を電子カルテのデータを遡ることによって検討し、SAH 急性期に栄養状態の改善を必要とする患者を明らかにすることを目的とします。

研究に用いる試料・情報の種類：

患者背景：年齢、性別、WFNS 分類

一般身体所見：身長、体重、BMI、GCS、mRS

血液検査：赤血球数、白血球数、血小板数、総リンパ球数、ヘモグロビン

生化学検査：TP、ALB、T-Cho、CRE、T-Bil、AST、ALT、CRP

治療法：SAH に対する治療法（クリッピング術、コイルリング術）、輸血の有無

併用薬：抗凝固薬、抗血小板薬、脳血管攣縮治療薬の使用の有無

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系

研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
電話番号 058 - 230 - 7088
氏名：志水 真也

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
氏名：鈴木 昭夫